

西部丘陵一帯(春～夏)



やまがた自然散策ガイドマップ



山形市環境部環境課

〒990-8540
山形市旅籠町二丁目3番25号
TEL: 023-641-1212 FAX: 023-624-9928

西部丘陵一帯で見られる動植物



＜フイリシハイスミレ＞

以前はマキノスミレの斑入り型と考えられていましたが、2003年にスミレの権威いがりまさし氏によりフイリシハイスミレと同定されました。西部丘陵一帯では多く自生しています。(花期5月)



＜イワナシ＞

ツツジ科の植物で、山の斜面に多く自生し、方言でイワマメと言われていました。春に花が咲き、すぐに実を付けます。この実は、昔の田植えの頃(今の6月初旬の頃)に袋いっぱい採取され食べられていました。(花期5月～6月)



＜カナヘビ＞

市周辺の林内や林縁で普通に見られます。よくトカゲと間違われますが、トカゲの方は人家近くで多く見られ、カナヘビは鱗がかさついてざらざらしており、喉から下顎の鱗形で容易に区別できます。

西部丘陵一帯で見られる動植物



＜オオリ＞

夏鳥として渡来し、山地の溪流沿いの林に生息しています。♂は上面が濃い青色で、さえずりはピールーリー ポーピーリーピピと歌います。ウグイス、コマドリとともに三鳴鳥のひとつです。(夏鳥)



＜ヤマアカガエル＞

山麓から山地にかけて、広く生息しています。産卵はまだ雪のあるうちに行なわれ、つぶれた球状の卵塊に1000～2000個の卵が入っています。ニホンアカガエルとは、背側線で区別できます。



＜ツチガエル＞

県民の森の湖沼や湿地に普通に生息しています。本種は、ウシガエルとともに、オタマジャクシのまま冬を越すことで知られています。県のレッドデータブックでは、準絶滅危惧種に指定されています。